



万葉集の巻頭が詠まれた地として有名な奈良・桜井市。
今も古墳が多く残り歴史を感じる穏やかな里に
岡村篤志さん（2015年度卒：23歳）が生まれ、
幸代さん（写真学科1年生：18歳）と
兄妹が揃って写専の門をくぐっています。
お父さんの直樹さんも1986年に卒業されました。

岡村 篤志 × 幸代

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol. 48

UP! SPECIAL
HAPPY is
FAMILY



兄妹が力を合わせて
卑弥呼以上の
世界を創ってください。

この二人がお父さんを支えながら桜井市で有名な写真館を
経営していくことでしょう。あー、近いうちに「そうめん」
でもご馳走になりたいものです。

兄の篤志（23）さんが写真学科を卒業して3年になります。彼はポートレートがうまくて、卒業制作作品では「学校長賞」を受賞。性格は明るくて、話が上手で、機転の利く人で、現在は実家の写真館を継いでいます。写真を撮ってなくても「鮎屋の大将」にでもなっていたら、ミシラン3つ星は付くでしょう（笑）それだけ相手を大切にすることです。篤志さんに写専の思い出を聞くと「台湾研修旅行が印象に残っています。知らない土地の空気、文化、食べもの、夜の街すべてが刺激的でした。あつ、それから校長にフカヒレスープをご馳走になりました。これは絶品でした。おいしかったです」（笑）

は？「明るくておもしろい人です。よく笑います。家族を笑かしてくれます。お調子者の雰囲気はいい具合に出ています」（笑）最近のお二人のニュースを聞かせて下さい。篤志さんは「彼女のお姉さんの結婚式の花嫁姿を前撮りしたんですが、日々こなす撮影の仕事のなかで、改めてこの仕事の良さに気づきました」日常生活の中でふと感じる最高の幸せの瞬間。平凡の中に隠された感動の瞬間。きっと篤志さんはこれまた、ひとまわり大きくなったことでしょう。

幸代さんの最近のビッグニュースと言えば「鳩の歩く姿が可愛いと、気がついたことでした」（笑）明るくておもしろい人は篤志さんじゃなくて幸代さんかもしれない（笑）二人の仲のよさが浮かんできます。兄妹喧嘩はしないようですよ。「妹はボクに絶対服従ですから」（笑）妹さんが合わせてくれているんですよ。（は）